

海外留学プログラム成果報告 2021年度

担当部署	プログラム名	留学先	期間	教育研究活動内容および成果	認定方法	認定単位数(実績)
英語学科 国際交流・留学センター	協定校派遣留学 プログラム	オーストラリア	9ヶ月	新型コロナウイルス感染症の影響により渡航しての留学は中止となり、オンライン留学が実施された。20週間、English for Academic Purposes コースを受講し合格後に正規科目を4Unit 履修。派遣先大学では、専攻分野の科目を中心に専攻分野の幅を広げる関連分野の科目も履修する。オンラインで行われる授業はリアルタイムで行われるものとオンデマンドで行われるものがあり、事前オリエンテーションで受講に必要な情報を確認し、準備する。授業において、大学の研究、大学での読み書きに必要な技術、コミュニケーション技術を磨き、組織の中での対人コミュニケーションの重要性や役割を理解し、実践的に活用できる力を身につける。世界の国々の社会、歴史、文化についてオーストラリアやアジア諸国間の相互関係や影響を学び、国際的人材としての成長を目指す。留学終了後にはレポート作成および自己評価を目的としたアンケート調査に回答し、留学報告会で成果発表および体験発表を行う。	修得単位数および授業時間数に基づいて判断し、認定単位数を決定している。	30単位
英語学科 国際交流・留学センター	協定校派遣語学研修 プログラム	オーストラリア	2週間	新型コロナウイルス感染症の影響により渡航しての留学は中止となり、オンライン短期留学が実施された。英語4技能のレッスンとバーチャルアクティビティのリアルタイム授業が2週間実施された。オーストラリアの文化について学びながら英語力を磨く内容のレッスンで、語学力だけでなくオーストラリアの自然、動物、観光地や映画など多様なトピックについて学んだ。バーチャルアクティビティでは、メルボルンの町の紹介やネイティブの方々との交流活動が行われ、異文化に触れる機会となった。研修終了後には自己評価を目的としたアンケート調査に回答し、留学報告会で成果発表および体験発表を行った。	所定の条件(出席率、成績など)を満たすことにより英語学科においては専門教育科目の単位認定となる。	1単位
国際交流・留学センター	異文化理解演習	韓国 フィリピン アメリカ	2~4週間	新型コロナウイルス感染症の影響により渡航しての留学は中止となり、オンライン留学が実施された。この科目は、異文化理解を目的とした3つのプログラムから1つを選択する。一つ目は、韓国文化理解プログラムで、韓国の協定校から提供された韓国語と韓国文化体験からなるプログラムである。韓国語はレベル別にクラスが開講され、研修の最終日に試験が実施された。文化体験では協定校の在学生在がバディとして交流活動を行い、オンラインで観光地巡りや料理体験などを行った。特別講義では、日韓の歴史問題やオリンピックなどについて学ぶ機会となった。 二つ目のフィリピンと三つ目のアメリカの研修では SDGsをテーマに英語の授業や英会話レッスンを受け、現地での SDGsに関わる取り組みや課題についてディスカッションを行った。この研修プログラムを通して、コミュニケーションスキルや多角的な視点で物事を捉える方法、批判的思考法や質問方法について実践的に学んだ。 研修終了後には、レポート作成および自己評価を目的としたアンケート調査に回答し、留学報告会で成果発表および体験発表を行った。	所定の条件(出席率、成績など)を満たすことにより教養教育科目「異文化理解演習」の単位認定となる。	2単位